

叙位伝達式がありました

元串間市議会議員で旭日双光章を受けている故・野邊幸継氏がこのほど従六位を受章され、7月5日に市役所で市長からご遺族に位記が伝達されました。野邊氏は昭和58年から串間市議会議員を4期16年にわたり務め、副議長や産業経済常任委員会委員長、総務常任委員会委員長を歴任するなど、地方自治の発展に多大な貢献をされました。これまでの功績に改めて感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。



代理で位記伝達を受ける野辺幸治さん



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

夏の串間を満喫しました



7月14日、NPO法人『ひむかドリームプロジェクト』が志布志湾遊覧船体験を実施しました。市の委託する『福島港エリア活性化事業』の1つで、9月の中旬まで週末を中心に行われます。遊覧船は都井方面から志布志湾までを1時間かけてクルージング。終了後には串間の海の幸山の幸が振る舞われ、初日に参加した約30人の観光客は串間の夏を堪能していました。



INTERVIEW

たのしかった

加藤雄飛くん
衛伸くん

夏休みで、ロサンゼルスからおじいちゃんのところ遊びにきました。6月から1ヵ月金谷小にいます。船はスピードが速くてよかったけど、水が冷たくて気持ちよかったです。食べものもすごくおいしくて、おかわりしたくらいでした。

Scene 5

梅雨明けを前に海びらき



7月14日、高松海水浴場で海開きがあり、市内外から約200人が訪れました。海の安全を祈願する神事が行われた後には、串間太鼓『神童』が演奏を披露。訪れた人々を歓迎するように、太鼓の音が高く遠く響いていました。このほか、かき氷の早食い競争や宝探し、海の幸ふるまいなども催され、小さな子どもから大人まで多くの人が夏の日を満喫していました。



INTERVIEW

泳ぐのが好き

こばと幼稚園
うぐいす組
後藤夢結ちゃん

きょうはママといっしょにきました。キティちゃんのみずぎは、じぶんでえらびました。およぐのはだいすきなので、きょうはとてもたのしいです。たからさがしでは、イルカランドのけん（無料招待券）を見つけました。うれしかったです。

Scene 4

記念植樹の桜を市に寄贈



7月13日、串元元気クラブ（中川研児代表・22人）の役員5人が市役所を訪れ、桜木を寄贈しました。同クラブは平成21年から市の委託で桜づつみロードの桜を管理。また希望者を募り、結婚や誕生記念に桜を植える事業も行っています。寄贈は昨年度と今年4月までに記念植樹された桜木30本。植樹者名を寄贈目録にして市長に手渡しました（18ページに名簿記載）。



INTERVIEW

声かけに感謝

串元元気クラブ
代表
中川研児さん

剪定などの活動をしていると、最近はいろんな方が声をかけてくれるようになりました。中には、わざわざお茶を買って届けてくださる方もおられ、とてもうれしいです。このような支援を糧にして今後さらに活動に励んでいきたいですね。

Scene 3

早さと正確さを競います



7月8日、蔵元河川敷親水公園で第24回消防操法大会が開かれました。今大会には、市内5分団から選抜された6隊の消防隊が出場。ホースやポンプ操作の正確さと速さ、そして動きの美しさを競いました。梅雨の晴れ間となったこの日、見事優勝に輝いたのは大東分団第5部消防隊の皆さん。同隊は8月25日に開催される県大会に串間の代表として出場します。



INTERVIEW

県大会頑張る

大東分団第5部消防隊
指揮者
吉田明広さん

優勝できたのは率直にうれしいのですが、結果は目標としていたタイムより8秒も遅い61秒だったので納得していません。チームワークはとても良いので、県大会では目標タイムの53秒と優勝をねらっていきたいと思っています。頑張ります。

Scene 2

七夕飾りで季節の彩りを



7月6日、千種保育所さくら組・すみれ組の園児20人が総合保健福祉センターと串間市民病院を訪れ、七夕笹飾りを贈呈しました。笹飾りはそれぞれの施設ロビーに展示。園児が手づくりした星や天の川、織姫、彦星などが散りばめられ、訪れた人の目を楽しませていました。また、訪れた人にも自由に利用してもらえよう短冊と筆記具も備え付けられていました。



INTERVIEW

うまくできた

千種保育所さくら組
中津留剣慎くん

今日は、よかバスにのってきました。とても楽しかったです。たなばたかざりやたんざくもみんなで作りました。たんざくのマーブルもようはかんたんだったけどきれいにできました。たんざくには「たいごがたけますように」とかきました。

Scene 1

高速道の早期完成を要望



7月5日、南郷ハートフルセンターで東九州自動車道建設促進日南・串間地区総決起大会が開かれました。会には日南・串間などから約850人が参加。会に先立ち開かれた意見発表会では、代表者が高速道路の必要性を熱く訴えました。今後も東九州自動車道「清武～日南間」の早期完成と「日南～串間～志布志間」の早期整備計画格上げに向け、要望していきます。



INTERVIEW

未来を託す道

串間のみちを考える
女性の会 会長
斉藤チヅ子さん

串間代表として、意見発表しました。高速道路はただ単に必要なのではなく、人口増加・雇用の創出・物資輸送・防災など多くの面において意味があると思っています。高速は「串間の未来を託す道」であり、「子や孫に託す道」だと思います。